

令和二年二月

道明寺天満宮梅まつり

奉納俳句入賞作品

佳作

車椅子の母押してゆく梅の径

羽曳野 菊川 善博

白梅と競ふや枝のみくじ千

藤井寺 桑山 文子

梅賞

里帰りした娘もまじる梅まつり

藤井寺 若松 雅枝

曇天へ白梅白を濃くしたる

広陵町 堀田ますみ

評 梅花祭の頃、嫁入りした娘が孫を

連れて里帰りする。嬉しい時期。

天神へ外泊許可の梅見なる

藤井寺 井門 きみ

観梅や帰りは主婦の顔となり

羽曳野 橋本 祥子

松賞

老梅の生き様見んと握る杖

藤井寺 高岡 春幸

梅二月香り満ちくる土師の宮

藤井寺 小野 常芳

杖の歩に合はせて巡る梅の苑

松原 西田 鏡子

評 分身の杖を頼りに天満宮の梅園へ。

お目当ては遅しうき生きる老梅の花。

梅終り陽を集めいるさざれ石

藤井寺 竹村 英子

竹賞

二羽三羽飛び交うメジロ宮の梅

藤井寺 岩崎 貫次

撫で牛の足に春光きらめけり

羽曳野 岡林 佑美

梅が香や祖母と来た園孫と来る

藤井寺 窪田 睦美

評 梅の枝にうぐめく鳥影、目白です。

濃い緑に白ぶちの丸い可愛い目が。

評 俳人協会会員 桃井克夫氏

主催 藤井寺市観光ボランティアの会